

## 全日中事務局だより

▼第70回全日本中学校長会群馬大会

10月23・24・25日、群馬県前橋市のベイシア文化ホールを中心に開催。

大会第一日は、第2回常任理事会・理事会の開催。大会第二日は、開会式・文部科学省説明は、大臣官房審議官初等中等教育局担当矢野和彦様が担当され、台風第19号による被害にも関わらず約一八〇〇人の校長が集まった。

「新たな時代を切り拓く人づくり 東国文化発祥の地 群馬から」のスローガンのもと「新たな時代を切り拓き、よりよい社会を創り出していく日本人を育てる中学校教育」を研究協議会主題に、全体協議会と8つの分科会で活発な協議が行われ、参加者が共に学ぶことができた。第三日は、アトラクションとして、伊勢崎市立第三中学校ギター・マン・ドリンド部・合唱団による歌と演奏が披露された。記念講演は、「自

己点検のススメ」との演題で、小説家横山秀夫氏のお話を拝聴した。校長先生方にとって、自らの行動や考えを見直すよい機会となるご講演であった。

本大会の開催に向け、長い期間にわたる企画・準備運営をいただいた綿貫知明実行委員長、鈴木雅浩運営委員長、山田和豊大会事務局長、各部の役員をはじめとする群馬県中学校長会と事務局の結束力及び多くの方々のおかけをもちまして、感動ある、素晴らしい大会を無事終了できたこと、改めて心より感謝申し上げます。そして、提案者・議長・司会等の各役割や係として奮闘された皆様、本当にありがとうございました。お世話になりました。

▼第二回理事会報告、協議事項から  
○台風第19号による災害見舞金の送付  
台風や豪雨災害により、被災された皆様に対してのお見舞いや弔意を表す大会となった。特に台風第19号の影響下の中で開催された常任理事会におい

て、全日中としての方針を決め、理事会で以下のような報告した。

・被害が広範囲にわたり、現段階で、被害状況を完全に把握できておらず、全容が分かるまでなお相当の時間を要するが、現時点（10月18日）で緊急に対応する必要があると判断した。具体的には、昨年度の西日本豪雨災害に準じ「お見舞い」として、被害に遭われた都道府県の事務局に「お見舞金」を送付したい。なお、送金する資金は一般会計の予備費を充て、先例に従い一口30万円。現時点では、長野県中学校長会事務局が該当。今後の被害状況により支援対象となった都県中学校長会事務局に送金する。

・全日本中学校長会の宣言・決議

全日本中学校長会では、今年度の総会及び今回の全国大会群馬大会の宣言・決議に「東日本大震災をはじめ災害等により被災した地域の復興を期し、教育活動の充実に向けた支援と全国各

地区・各学校における防災教育の充実に努める」とあり、これを踏まえ、全日本中学校長会として態度を表明する。

・全日本中学校長会として、会長からのお見舞い及びお悔やみのメッセージを全日中ホームページに掲載する。

・義援金については、全日本中学校長会としては取り扱わない。今回の被災地に対する義援活動に関しては、各地区の判断により進める。

○「いじめ防止自己点検シート」による自己点検の実施（全日中としての今後の方針）

生徒指導部が、全国の調査研究協力校に、いじめ問題に関する自己点検シートで調査をかけた。その中で校内指導体制に関するチェック項目の「いじめ問題が起きたときに、特定の教員が抱え込んだり事実を隠したりすることなく、全校体制で対応することができているか」を問う質問に関して、全国736校から回答を得た。「あまりでき

ていない」「全くできていない」、これが合わせて1校しかなく、バーセンタージでいえば0.1%であった。しかし、校内の情報共有、校内体制ができていないために発生する確率はゼロではない。そこで、この自己点検シートを全日中のホームページに掲載するので、全国の約九〇〇校の全ての中学で自己点検をぜひ実施してもらいたい。そして、それぞれの学校の状況を確認し、自分の学校の状況をこの自己点検シートでもう一度確認し、足りない所があったら、それをどうしたらプラスの方向に転じることができるかということとを全ての中学校で実施する機会としたい。このことから、今後不幸な事案、特にいじめ問題に起因する自殺事案、自殺事件をなくす第一歩になると確信している。全日中のホームページにこのシートを載せ、全ての学校でこの点検シートで、御自分の学校の取り組みについてもう一回確認する提案を今回

の理事会で行った。承認を得て、翌日行われた全体協議会で笹木生徒指導部長から全日中提言として、参加された会員へ自己点検の重要性を訴えた。

○新全日中教育ビジョンの策定

現在策定中の全日中教育ビジョンは、昨年度の臨時常任理事会で説明し、いじめ問題に関して一つの項目を起こした。いじめ問題は喫緊の課題であり、早急に対応が必要と考えている。そのため、先行し取組を進めている。「いじめ防止」では、「生徒一人一人が安心して過ごすことのできる学校の実現」との大きなテーマを掲げた。

全日中教育ビジョン策定の流れは、今後、11月の臨時常任理事会で精査し、第3回の理事会において追加した内容や全体の内容について提案し、令和2年度第一回理事会を経て、総会でご承認いただく予定。その後、全会員への配布は8月に予定している。

（事務局長 松澤 宏尚）